



グラフレポート活用⑦
～顧客別訪問件数編～

アジェンダ

01 グラフレポート機能とは

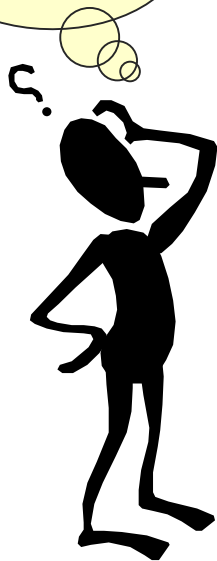
02 実際の作成方法

03 その他作成時の注意点

このレポートで解決できる課題

<営業マネージャーの悩み>

部下が担当顧客に定期的に訪問できているかチェックしたい・・・



<営業の声>

訪問はたくさんしているのにフォローできていないと怒られる・・・。
なぜだろう？



担当顧客に対して、きちんと定期的に訪問できているかを確認し、行きやすい顧客ばかり訪問するのを防ぎます

01 グラフレポート機能とは

グラフレポートについて

作成フロー概要

1

データソース

帳票・グラフの元となるデータの固まり(データソース)を作成します

- 使用するシートを選択します
- シートの中から使用する項目を選択します
- 帳票での集計項目、抽出条件など全てを含めたものを作成します

顧客名	業種	案件名	進捗状況	受注	担当者	備考
sample株式会社	製造業	A導入案件	9.導入/開発中	2010-06-15	営業太郎	えいぎょうた
sample株式会社	製造業	esm/80L	8.受注	2010-06-15	営業太郎	えいぎょうた
sample株式会社	製造業	esm/ASPトライアル30L	トラブル対応	2010-06-15	営業太郎	えいぎょうた
sample株式会社	製造業	esm保守更新	3.課題明確化	2010-06-15	営業太郎	えいぎょうた
sample株式会社	製造業	Webマーケティングコンサルティング	4.提案中	2010-06-15	営業太郎	えいぎょうた
ソフトブレン株式会社	情報通信業	A導入案件	4.提案中	2010-06-15	営業太郎	えいぎょうた
ソフトブレン株式会社	情報通信業	B導入案件	選択なし	2010-06-15	営業太郎	えいぎょうた
ソフトブレン株式会社	情報通信業	B導入案件	選択なし	2010-06-15	営業太郎	えいぎょうた
ソフトブレン株式会社	情報通信業	esm RemixCloud/100L	トラブル対応	2010-06-15	営業太郎	えいぎょうた
ソフトブレン株式会社	情報通信業	esm/120L	6.最終調整中	2010-06-15	10,000,000円	営業太郎
ソフトブレン株式会社	情報通信業	esm/40L/関西支社	5.費用交渉中	2010-09-30	4,800,000円	営業太郎
ソフトブレン株式会社	情報通信業	eSM新規導入	選択なし	2010-09-30	営業太郎	えいぎょうた
ソフトブレン株式会社	情報通信業	eSM新規導入	選択なし	2010-09-30	営業太郎	えいぎょうた

2

帳票

作成したデータソースを元に帳票を選択します
帳票には、「一覧表」と「クロス集計表」の二種類あります

顧客別案件数および受注金額

受注(予定)日: 今日から12カ月前~0カ月後

該当件数 9件 50件 表示

	2013-8		2013-9		2013-10	
	案件数	案件金額	案件数	案件金額	案件数	案件金額
BM商事株式会社	0	0円	0	0円	0	0円
たから歯科クリニック	0	0円	0	0円	0	0円
ロングフーズ株式会社	0	0円	0	0円	0	0円
株式会社アルファラン	0	0円	0	0円	0	0円
株式会社大河組	0	0円	0	0円	0	0円
高田製菓株式会社	0	0円	0	0円	0	0円
東都電力株式会社	0	0円	0	0円	0	0円
日高歯科クリニック	0	0円	0	0円	0	0円
武田建設株式会社	0	0円	0	0円	0	0円

※削除する場合は、作成手順と逆の手順で行います。
それぞれ次のフローに進むと、変更・削除ができなくなります。

データソース

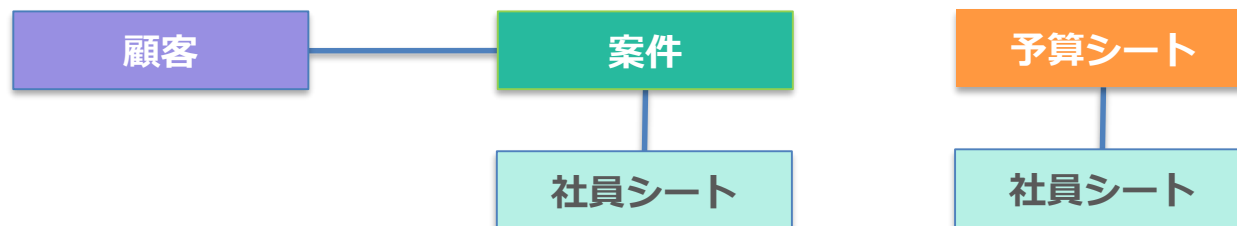
シート・結合マップ・データソースの選択

データソースの作成元となる形式を選択します。
作成元としては、下記の3パターンがあります。

- ① シート選択 ※シート単体からデータソースを作成します



- ② 結合マップ選択 ※複数シートを組み合わせてデータソースを作成します



- ③ データソース選択 ※複数データソースを組み合わせてデータソースを作成します



02 実際の作成方法

データソース作成

データソース作成①

帳票やグラフを作成する前に、まずはデータソースを作成する必要があります。

セールスマネージャー
Remix

管理者 ヘルプ

システムメニュー

顧客
案件
名刺
活動
社員
商品
カレンダー
データ分析
書類棚
タイムライン
実績シート

データ分析 グラフレポート データソース

データソース一覧

カテゴリ新規作成 データソース新規作成 削除

カテゴリ・データソース名	使用シート	同期間隔	最終同期日時	最終更新日	最終更新者	順序
No.1				2020-02-10 13:55	管理者	
No.2				2020-02-10 13:55	管理者	
No.3				2020-02-10 13:55	管理者	
No.6				2020-02-10 13:55	管理者	
No.				2020-02-10 13:56	管理者	
No.8				2020-02-10 13:56	管理者	

1 データソースをクリックします

2 データソースをクリックします

3 データソース新規作成をクリックします
* カテゴリが作成されていない場合はデータソース新規作成が出てきません
先にカテゴリ新規作成を行ってください
カテゴリとは、フォルダのようなイメージです

データソース作成② データソースの選択

データソースを作成するためにどこからデータを取得するか選択します。

データ分析

シート・結合マップ・データソースの選択

シート・結合マップ・データソースの選択 > 集計項目の設定 > 集計条件の設定 > データソースの保存

1 ▲ データソースで集計対象とするシート、結合マップ、およびデータソースを選択します。

選択	名称	使用シート	操作	順序
<input type="checkbox"/>	シート選択			
<input type="checkbox"/>	結合マップ選択			
<input type="checkbox"/>	データソース選択			

結合マップ新規作成
をクリックします

データソースを作成するためにどこからデータを取得するかを選択します

- ・ **シート選択**
一つのシートから帳票・グラフを作成したい場合に選択します
- ・ **結合マップ選択**
複数のシートの情報を組み合わせて帳票・グラフを作成したい場合に選択します

★今回はシート選択ではなく結合マップ選択を使用してデータソースを作成します

データソース作成③ 結合マップの作成 1

複数のシートを結合して一つの結合マップを作成します。

結合マップ新規作成

▲ シート追加メニューより結合したいシートまたはデータソースを追加し、結合マップを作成します。

結合マップ名 (日本語)
他言語を表示

説明文

結合

1 必要なシートをクリックして、左側の枠内にカーソルを移動します

2 水色の四角形が表示されたら、クリックして配置します
*ドラッグアンドドロップでは配置できません

3

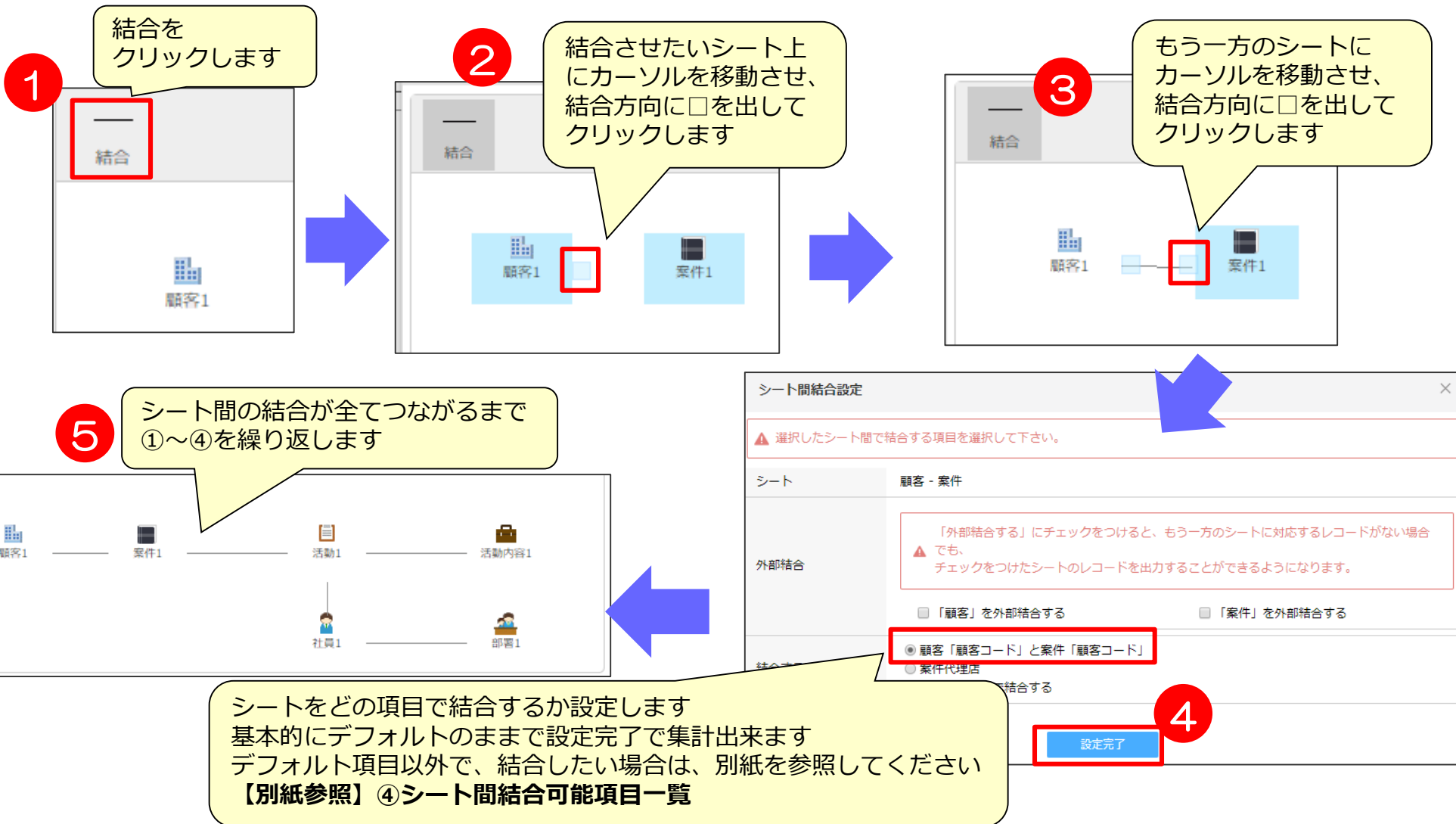
今回は、顧客、案件、活動、活動内容、社員、部署を選択します
それぞれ①と②を繰り返して配置します
※シート間の配置は距離を開けて配置してください
距離を詰めて配置すると、P14の結合が難しくなります

顧客	案件	案件商品情報項目
活動	活動内容	活動商品情報項目
商品	名刺	社員

顧客1	案件1	活動1	活動内容1
社員1	部署1		

データソース作成③ 結合マップの作成2

シート間を結合し、シート間の結合設定します。



データソース作成④ 結合マップの作成 3

シートの結合が完了しましたら「結合マップ名」を記入し、登録します。
※既に作成されている結合マップと同一名称のものは登録できません。
エラーが表示されたら結合マップ名を変更して、登録を行ってください。

結合マップ新規作成

⚠ シート追加メニューより結合したいシートまたはデータソースを追加し、結合マップを作成します。

結合マップ名 **1** (日本語)

他言語を表示

結合マップ名を記入します

説明文

結合

顧客1 — 案件1 — 活動1 — 活動内容1

社員1

「登録」をクリックします

2

- 顧客
- 案件
- 案件商品情報項目
- 活動
- 活動内容
- 活動商品情報項目
- 商品
- 名刺
- 社員
- 31

データソース作成⑤ 結合マップの選択

新規作成した結合マップは、一番下に作成されますので、チェックをつけ選択します。

データ分析

シート・結合マップ・データソースの選択

選択	名称	説明	使用シート	操作	順序
<input type="checkbox"/>	活動集計用 (見達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更 コピー 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	活動集計用 (見達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更 コピー 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	A (達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更 コピー 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	A (未達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更 コピー 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	B (達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更 コピー 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	B (未達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更 コピー 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	C (達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更 コピー 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	C (未達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更 コピー 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	D (達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更 コピー 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	D (未達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更 コピー 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	実績シート		顧客, 実績シート	変更 コピー 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	案件社員		顧客, 案件, 社員, 部署	変更 コピー 削除	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	案件活動		顧客, 案件, 活動, 活動内容, 社員, 部署	変更 コピー 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	データソース選択				<input type="checkbox"/>

3 作成した結合マップは、「結合マップ選択」の一番下に表示されますので、チェックを入れ選択します

4 「次へ」をクリックします

次へ

データソース作成⑥ 集計項目の配置

帳票やグラフで必要となる項目を選択します。

◎ドリルダウンした際に見たい項目、抽出条件として設定したい項目全てを選択します。

データソースの並び順は、一番左側に配置した項目の昇順で表示されます。

The screenshot shows the '集計項目の設定' (Aggregation Item Settings) screen. At the top, there are four tabs: 'シート・結合マップ・データソースの選択', '集計項目の設定' (active), '集計条件の設定', and 'データソースの保存'. Below the tabs is a warning message: '集計する項目を選択し、項目と値を表示する位置を設定して下さい。 シートや結合マップを複数選択している場合は、シート、結合マップごとに配置する項目の個数と、各列の項目のデータソースを指定してください。 また、各列の項目の項目名と、シート、結合マップごとの区分として出力する値を設定してください。' (Select aggregation items and set the position to display items and values. If multiple sheets or combined maps are selected, specify the number of items to be configured for each sheet/combined map and the data source for each column. Also, specify the item name for each column and the output value for each sheet/combined map as a category.)

Callout 1: 'シートの隣の▼をクリックすると、各シートの項目を選択できます' (Clicking the ▼ next to the sheet allows you to select items for each sheet). A red box highlights the dropdown arrow next to the '顧客名' header in the table.

Callout 2: '帳票・グラフ・出力の絞り込みに使用したい項目をクリックします 項目の並び順はドラッグアンドドロップで変更できます' (Click the items you want to use for filtering in reports, graphs, and output. You can change the order of items by dragging and dropping). A red box highlights the '顧客名' item in the list on the right, and a red box highlights the '顧客名' header in the table. A red arrow points from the list item to the table header.

Callout 3: '「次へ」をクリックします' (Click 'Next'). A red box highlights the '次へ' button at the bottom of the screen.

At the bottom of the screen, there are two buttons: '戻る' (Back) and '次へ' (Next).

※1表示項目名の変更はこちらのアイコン  より可能です。

【参考】この例で必要な項目と項目名変更

この例では以下の項目を配置し、名称の変更が必要な項目があります。

顧客名	業種	案件名	進捗状況	活動内容	訪問日	活動時間	報告者	詳細内容	受注(予定)日	受注(予定)金額
-----	----	-----	------	------	-----	------	-----	------	---------	----------

活動コード	部署コード	社員コード
-------	-------	-------

顧客

- 顧客名
- 業種

案件

- 案件名
- 受注(予定)日
- 受注(予定)金額

活動

- 活動コード
- 進捗状況
- 報告者
- 訪問日
- 活動時間
- 詳細内容

活動内容内容

- 活動内容

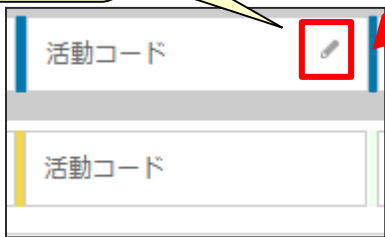
社員シート

- 社員コード

部署

- 部署コード

このアイコンをクリックすることで項目名の変更が可能です(P17※1参照)



今回の例では、「活動コード」→「訪問件数」というように表示項目を変更します

※社員コードや部署コードは、検索条件に指定する際に、組織ツリーからの選択方式にしたい場合に利用します(参照P26)

データソース作成⑦ データ条件指定 1

データソース上で絞り込むための条件を設定します。

結合マップで結合したシート上の項目より、条件指定の選択が可能です。

集計件数が少ない方がシステム負荷が減るので、なるべく条件を絞るようにしてください。

集計条件の設定

シート・結合マップ・データソースの選択 > 集計項目の設定 > 集計条件の設定 > データソースの保存

1 一覧表示項目を変更

「一覧表示項目を変更」をクリックします

⚠ このデータソースにおいて集計するデータを絞り込むための条件を設定して下さい。

⚠ 集計条件は1項目も設定されていません。

戻る

データソース集計条件設定 項目設定

表示項目 一括で削除

項目一覧

- 顧客(案件活動) 一括で追加
- 案件(案件活動) 一括で追加
- 活動(案件活動) 一括で追加
- 活動内容(案件活動) 一括で追加
- 社員(案件活動) 一括で追加
- 部署(案件活動) 一括で追加
- 活動活動内容(案件活動) 一括で追加

結合マップに使用しているシートが項目一覧に表示されます

設定完了

データソース作成⑦ データ条件指定2

今回の例では、進捗状況を絞ってデータを抽出を行ってみましょう。
進捗状況を使用されていない環境では、活動内容を使用してください。

1 進捗状況

2 進捗状況

3 設定完了

4 進捗状況にチェックします

5 条件を設定したら「次へ」をクリックします

今回は活動の「進捗状況」を集計条件設定に使用します
項目一覧でクリックすると、自動でグレイアウトされ左側の表示項目へ追加されます

「設定完了」をクリックします

条件を設定したら「次へ」をクリックします

このデータソースにおいて集計するデータを絞り込みたい項目を選択してください

進捗状況(案件活動)	未フォロー	提案済	そのうち	アボ設定中	内示	失注	初回訪問	受注	中断	案件化	受注後フォロー
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

次へ

※ご利用いただいている環境によって、
設定されている進捗状況は異なります。
今回の例では「未フォロー」から「内示」の進捗状況を選択しております。

データソース作成⑧ 保存

データソースを保存します。

※同期間隔を15分～1440分の間で設定可能になりました。

データソースの保存

シート・結合マップ・データソースの選択 集計項目の設定 集計条件の設定 データソースの保存

⚠ データソース名と説明文を入力し、データソースを参照・参照編集できるユーザを設定してください。

1 どのカテゴリに保存するか選択し、データソース名を記入します

2 毎日1回の更新、またはある一定の時間での更新を選択できます

3 「新規データソースとして保存」をクリックします

4 「OK」をクリックします

5 「OK」をクリックします ※集計結果を見たい場合は「OK」をクリックします その場合、結果が表示されるまで時間がかかります

acacia2.softbrain.co.jp の内容
データソースを設定した内容で保存します。よろしいですか?

acacia2.softbrain.co.jp の内容
データソースの集計結果を表示します
(「キャンセル」をクリックすると、データソースの一覧を表示します)

カテゴリ: デフォルト

データソース名: 訪問件数集計 (日本語)

同期間隔: 毎日(GMT+09:00)日本標準時(Asia/Tokyo)の 00 : 00 に同期処理を開始する
 15 分おきに実行する
 定時同期しない

参照権限: 全員 社員を指定する
役職で絞り込む 全て選択 全て解除 選択反転
 マネージャー 担当 インサイド

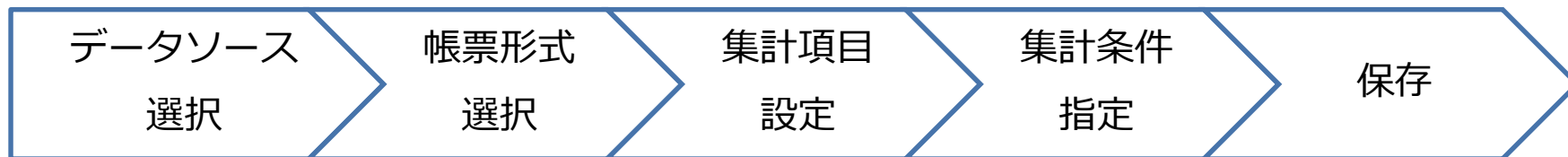
参照編集権限: 全員 社員を指定する
役職で絞り込む 全て選択 全て解除 選択反転
 マネージャー 担当 インサイド

キャンセル 新規データソースとして保存

OK キャンセル

OK キャンセル

帳票の作成



帳票の作成① 帳票形式選択

作成したデータソースを使用して帳票を作成します。データソースの選択と、帳票の形式の選択します。

1 グラフレポートをクリックします

2 帳票新規作成

3 作成したデータソースを選択します

4 帳票の形式を選択します

5 次へ

帳票新規作成をクリックします
* カテゴリが作成されていない場合は帳票新規作成が出てきません
先にカテゴリ新規作成を行ってください
※カテゴリとは画面上のフォルダアイコンを示します

帳票の形式を選択します

- ・一覧表
各シートの検索結果画面のように、項目を横に並べて表示させる形式です
- ・クロス集計表
Excelのピボット集計のように、項目を集計し表として集計を行う形式です
* グラフを作成できるのはクロス集計表のみです

作成する帳票の形式と、作成元となるデータソースを選択します。

作成したデータソースを選択します

帳票の形式を選択します

クロス集計表

データソースで集計した結果の項目を縦軸または横軸の項目として配置し、表を作成して設定した項目の値を集計します。

帳票の作成② 集計項目設定

帳票を作成するための項目を、左側データソースの項目よりドラッグアンドドロップで配置します。

集計項目の設定

帳票の形式の選択 > 集計項目の設定 > システム集計条件の設定 > ユーザー集計条件の設定 > 帳票の保存 > 帳票の確認

⚠ 集計する項目を選択し、項目と値を表示する位置を設定して下さい。

訪問件数集計

顧客名

業種

進捗状況

活動内容

訪問日

誕生日

演算項目

戻る 次へ

1

2

項目をドラッグアンドドロップで配置します

配置する際は左下と右上の薄い灰色部分と右下の白い部分に項目を配置します

*今回は顧客別訪問件数の配置例を次ページより案内します

帳票の作成③ 集計項目設定

それぞれ項目を配置した際に、項目設定画面出てきますので、指定したい表示単位を選択します。

右上の項目には「訪問日」を配置します
* 右上の項目には表示できる範囲に制限がかかっています
日ごとに見る場合だと後の集計条件の設定にて絞り込む条件を短くする必要があります

日付項目を配置すると表示単位の選択画面が表示されます
今回は「月」を選択し「設定完了」をクリックします

小計・合計の選択をせず「設定完了」をクリックします

今回は「件数」にチェックをつけ、「設定完了」をクリックします

The screenshot shows the '集計項目設定' (Aggregation Item Setting) screen. At the top, there are tabs for '集計条件の設定', '帳票の保存', and '帳票の確認'. The main area is divided into several sections:

- Item Selection:** A list of items to be added to the report. '顧客名' (Customer Name) is highlighted with a red box and labeled '1'. '訪問日' (Visit Date) is highlighted with a red box and labeled '2'. '訪問件数' (Number of Visits) is highlighted with a red box and labeled '3'.
- Item Setting (項目設定):** A table for configuring the selected items. The '顧客名' row is shown with '項目名' (Item Name) as '顧客名', 'データ型' (Data Type) as '文字' (Text), and '小計・合計' (Subtotal/Total) options as '小計を出力する' (Output subtotal) and '合計を出力する' (Output total), both of which are unchecked. The '表示順' (Display Order) is set to '昇順' (Ascending). A blue '設定完了' (Setting Complete) button is at the bottom.
- Aggregation Method Setting (集計方法設定):** A section for configuring the aggregation method. The '項目名' (Item Name) is '訪問件数' (Number of Visits) and the 'データ型' (Data Type) is '文字' (Text). The '集計方法' (Aggregation Method) is set to '件数' (Count), which is checked. Other options include '件数 累計・昇順', '件数 累計・降順', '軒数', and '軒数 累計・昇順', '軒数 累計・降順'. The '小計・合計の計算方法' (Calculation Method for Subtotal/Total) is set to '縦軸' (Vertical Axis) with '合計' (Total) selected. A blue '設定完了' (Setting Complete) button is at the bottom.
- Navigation:** At the bottom, there are two buttons: a red '戻る' (Back) button and a blue '次へ' (Next) button, which is highlighted with a red box and labeled '4'.

Numbered callouts 1, 2, 3, and 4 are placed on the screen to guide the user through the steps.

帳票の作成④ 集計条件指定

システム集計条件、ユーザ集計条件にて、抽出条件の設定を行います。

◎ データソースで設定した項目(P17)より選択が可能です。

システム集計条件の設定

帳票の形式の選択 > 集計項目の設定 > システム集計条件の設定 > ユーザ集計条件の設定 > 帳票の保存 > 帳票の確認

一覧表示項目を変更

△ 作成する帳票の形式と、作成元となるデータソースを選択します。

△ 集計条件は1項目も設定されていません。

1

今回はシステム集計条件は設定せず、「次へ」をクリックします

「一覧表示項目の変更」から集計条件の追加が可能です

戻る 次へ

ユーザ集計条件の設定

帳票の形式の選択 > 集計項目の設定 > システム集計条件の設定 > ユーザ集計条件の設定 > 帳票の保存 > 帳票の確認

一覧表示項目を変更

この帳票において集計するデータを絞り込むための条件を設定して下さい。
システム集計条件において選択した選択肢のみを、ユーザ集計条件で指定できます。

訪問日

● 期間指定 (年月日) ● 今日から○日前-○日後 ● 今日から○日前 ● 今日から○日後
● 今日から○ヶ月前 (月初) -○ヶ月後 (月末) ● 今日から○年前 (期初) -○年後 (期末)

今日から 3 ヶ月前 - 0 ヶ月後

進捗状況

全て選択 全て解除 選択反転

未フォロー アボ設定中 初回訪問 案件化 提案済
 内示 受注 受注後フォロー そのうち 失注

※複数進捗状況がある場合、システム集計条件で絞り込むことにより、ユーザ集計条件の表示は絞り込んだ進捗状況のみ表示されます。

社員コード

ログインユーザ

<< 選択 削除 >>

ソフトブレン活用支援サイト

ソフトブレン活用支援サイト

検索オプション

※青文字：部署
※黒文字：社員
※その他の色付き文字：社員グループ

子部署も含む

戻る 次へ

2

集計項目の選択にて、日付項目を右上に配置した場合、制限がかかるため期間条件を必ず設定する必要があります

3

社員コードを条件に指定すると、社員を選択式で選べるようになります
※追加した項目は社員等設定せずに条件として保存することができます

4

条件項目設定後、「次へ」をクリックします

帳票の作成④ 【補足】集計条件指定

システム集計条件、ユーザ集計条件の違いは以下の通りです。

■ システム集計条件

- ◆ 管理者、作成者、編集権限保持者のみが設定できる条件です。
- ◆ 閲覧権限のみのユーザ側で条件を変更することはできません。
- ◆ 帳票閲覧時に、条件変更は誰でも不可。

■ ユーザー集計条件

- ◆ ユーザ側で帳票を確認する際に自由に変更できる条件です。
- ◆ 帳票閲覧時に「検索条件変更」より条件変更が可能です。
- ◆ 閲覧権限のあるユーザはどなたでも変更できる条件です。

帳票の作成⑤ 保存

条件を設定したら、「帳票名」を記入し保存します。
保存前にプレビュー画面で確認が可能です。

帳票の保存

帳票の形式の選択 > 集計項目の設定 > システム集計条件の設定 > ユーザー集計条件の設定 > **帳票の保存** > 帳票の確認

⚠ 帳票名と説明文を入力し、ユーザが集計結果の絞り込みに使用できる検索項目を設定してください。
※必須項目です

カテゴリ: デフォルト

帳票名 ※: 顧客別訪問件数 (日本語)

他言語を表示

説明文

参照権限: 全員 社員を指定する

参照編集権限: 全員

戻る **次へ**

1 帳票名や参照・編集権限の付与設定を行います

2 「次へ」をクリックすると帳票が確認出来ます

データソースの同期処理が行われていないと「該当データはありません」と出てくる場合があります

顧客別訪問件数

訪問日: 今日から 3カ月前~0カ月後

検索条件変更

該当件数 16件 50件 表示

	2019年11月	2019年12月	2020年1月	2020年2月
★株式会社スマイル				
SINKO株式会社	0	2	0	0
キッコー軒株式会社	0	0	0	0
マツモト株式会社	0	3	0	0
株式会社HQフォン				
株式会社シチシ工務店				
株式会社ナギサ販売				
株式会社プロネコ				
株式会社新玉機械工業				
株式会社豊ビルシステム				
佐藤システム株式会社				
埼玉水道局	1	0	0	0
	2			

3 新規登録

4 OK キャンセル

数値のドリルダウンは、保存後可能です

acacia2.softbrain.co.jp の内容
帳票を設定した内容で公開します。よろしいですか?

「新規登録」をクリックして、「OK」を選択すると帳票の作成および保存完了です

帳票の作成⑥ 作成した帳票の確認 1

作成された帳票は、グラフレポート一覧画面より確認が可能です。
該当帳票名をクリックすると帳票画面が開きます。

◎ ユーザ条件が設定されている場合は、ユーザ側で条件変更が可能です。

データ分析		グラフレポート	データソース						
グラフレポート一覧									
	カテゴリ・帳票・グラフ名	形式	説明	変更	最終同期日時	作成元	順序		
<input type="checkbox"/>	KPI指標 <input type="button" value="同期"/>	帳票	クロス集計表	変更	2020-03-12 12:00	活動集計	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	パイプライングラフ用 <input type="button" value="同期"/>	帳票	クロス集計表	変更	2020-03-12 12:05	パイプライン用	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	パイプライングラフ (金額) <input type="button" value="同期"/>	グラフ	棒グラフ	変更	2020-03-12 12:05	パイプライングラフ用	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	活動内容集計円グラフ <input type="button" value="同期"/>	グラフ	円グラフ	変更	2020-03-12 12:00	社員別活動内容集計	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	社員別活動内 1		クロス集計表	変更	2020-03-12 12:00	活動集計	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	顧客別訪問件数 <input type="button" value="同期"/>	帳票	クロス集計表	変更	2020-03-13 11:03	訪問件数集計	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	提案用						<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	年間予算達成_2 <input type="button" value="同期"/>	帳票	クロス集計表	変更	2020-03-13 00:00	予算実績集計用	<input type="checkbox"/>		

作成された帳票の名前をクリックします

帳票の作成⑥ 作成した帳票の確認 2

作成された帳票は、グラフレポート一覧画面より確認が可能です。
該当帳票名をクリックすると帳票画面が開きます。

◎ユーザー条件が設定されている場合は、ユーザー側で条件変更が可能です。

データ分析

顧客別訪問件数 (最終同期日時:2020-03-13 11:03)

訪問日: 今日から 3カ月前~0カ月後

該当件数 16件 50件 表示

	2019年12月	2020年1月	2020年2月	2020年3月
★株式会社スマイル	0	1	0	1
SINKO株式会社	0	0	2	0
キッコー軒株式会社	0	1	0	0
マツモト株式会社	0	3	0	0
株式会社HQフォン	0	1	0	1
株式会社シチシ工務店	0	0	1	0
株式会社ナギサ販売	0	0	0	0
株式会社プロネコ	0	0	0	0
株式会社新玉機械工業	0	3	0	1
株式会社豊ビルシステム	1	1	0	0

2

「訪問件数」を
クリックします



POINT 集計数値をクリックすると、集計内容明細が
閲覧可能です。
そこから「顧客情報」「案件情報」などに
リンクで飛べるため、マネジメントが一画面で
完結します。

3

集計内容詳細が表示されます
項目内容、並び順の設定はP17,P18です

顧客別訪問件数

該当件数 3件 50件 表示

顧客名	業種	案件名	進捗状況	活動内容	訪問日	活動時間	報告者	詳細内容	受注(予定)日	受注(予定)金額
マツモト株式会社	情報通信業	〇〇〇〇リプレイス	案件化	ヒアリング	2020-01-24	60	ユーザー-No.20		2020-02-08	26,952,430円
マツモト株式会社	情報通信業	〇〇〇〇リプレイス	提案済	ヒアリング	2020-01-15	60	★営業太郎		2020-02-08	26,952,430円
マツモト株式会社	情報通信業	〇〇〇〇リプレイス	提案済	ヒアリング	2020-01-30	60	ユーザー-No.1		2020-04-09	12,259,000円

戻る

03 その他作成時の注意点

システムに負荷をかけないために

- レポート機能は便利な機能ですが、誤って設定するとシステムに多大な負荷をかける恐れのある機能になりますので、設定時に以下の点にご注意ください。
 - ◆ POINT1 誤って設定しないよう、作成権限は必要最低限の方にのみ付与する
 - ◆ POINT2 データ同士の外部結合はなるべく避ける
 - ◆ POINT3 集計に必要なデータだけ集計する(なるべく抽出条件を設定しデータ量を絞る)
 - ◆ POINT4 データソースの項目数をむやみに増やさない
 - ◆ POINT5 データソースの構造はシンプルにする(不必要にユニオンしない)
 - ◆ POINT6 クロス集計表にて、むやみに「小計」「合計」を表示しない
 - ◆ POINT7 クロス集計表にて、むやみに項目をたくさん配置しない
 - ◆ POINT8 データソースの同期間隔の時間設定を一律にしない
(毎日1回なら時間をずらし、データが多い場合は15分おき実行は避ける)
- ◆ 詳細は、「【管理者マニュアル】グラフレポート編」をご確認ください

クロス集計表の集計項目について

クロス集計表の集計項目について、配置可能な項目、制限事項のご案内をします。

【設置可能な項目】

- ・数値型
- ・小数型
- ・日付型
- ・セレクト型
- ・チェックボックス型
- ・文字型(1個まで)

※横に項目を並べることはできません



【設置可能な項目】

- ・数値型
- ・小数型
- ・日付型
- ・セレクト型
- ・チェックボックス型
- ・文字型

※縦に項目を並べることはできません

集計値に用いる項目は4つまで配置できます
タテ並び、ヨコ並びどちらかの配置が可能です

【集計可能な項目】

- ・文字型
- ・数値型
- ・小数型
- ・日付型
- ・演算型

※演算結果はドリルダウンできません

【参考】項目タイプごとの配置による条件一覧

項目タイプ	列ラベル配置時の設定	値配置時の設定	項目タイプ	列ラベル配置時の設定	値配置時の設定
数値型 小数型 演算型	<p>【表示範囲】 任意の範囲を一つの要素として出力することができます</p> <p>【表示単位】 任意の表示単位を指定できます</p>	<p>【集計方法】 合計 平均 最大 最小 累計・昇順 累計・降順 【小計・合計】 小計と合計を出力できます 【演算】 出力結果に対して四則演算ができます 【表示単位】 任意の表示単位を指定できます</p>	日付型 日時型	<p>【表示単位】 年 年度 半期帯 半期 四半期帯 四半期 月帯 月 日帯 日 時間帯（日時型のみ） 時間（日時型のみ） 年-半期-四半期-月(右上のみ) 年-半期-四半期(右上のみ) 年-半期-月(右上のみ) 年-半期(右上のみ)</p>	<p>【集計方法】 最大の日時 最小の日時</p> <p>【日付フォーマット】 ユーザの日付フォーマット 任意の日付フォーマット</p>
文字型 文章型	<p>※文章型は配置できません</p> <p>【表示順】 ソートなし 昇順 降順 組織構成順 (部署名・社員氏名のみ)</p>	<p>【集計方法】 件数 軒数 件数 累計・昇順 件数 累計・降順 軒数 累計・昇順 軒数 累計・降順 (※文字が入力されているもののみカウントされます)</p> <p>【小計・合計】 (※出力結果の行に対してのみ) 小計と合計を出力できます</p>	グラフレポート演算型	配置できません	<p>【演算式】 他の値項目の出力結果や定数値を使った演算式を入力します ※日付型、日時型項目は式に含まれません</p> <p>【小数点以下の桁数】 出力する小数点以下の桁数を設定できます</p>
セレクト型 チェックボックス型	<p>※【各選択肢への設定】 表示順序 表示/非表示 合計・小計の対象とするか否か</p> <p>※【選択肢演算の追加】 他の選択肢の出力結果や定数値を使った演算式、その表示形式を設定できます</p>	配置できません	◎制限事項 横方向への小計・合計と累計（昇順・降順）は同時に設定することはできません。 小計・合計の出力設定は値に配置した項目間で共有されます。 小計・合計を出力できる項目と出来ない項目を両方配置した場合、小計・合計は出力されなくなります。 グラフレポート演算型項目は、演算式に含めた他の値項目が削除された場合、同時に削除されます。		

【参考】項目のソートについて

◎以下の項目でソートする場合は、名称ではなく内部コードの順でソートされるため注意してください。

シート名	項目名	項目タイプ
顧客	登録者	文字（社員コード）
	最終更新者	文字（社員コード）
	親顧客	文字（親顧客）
	親顧客 1～5	文字（親顧客）
案件	登録者	文字（社員コード）
	最終更新者	文字（社員コード）
案件 商品情報項目	商品コード	文字（商品コード）
活動	登録者	文字（社員コード）
	最終更新者	文字（社員コード）
	報告者	文字（社員コード）
	承認者	文字（社員コード）

シート名	項目名	項目タイプ
活動商品情報項目	商品コード	文字（商品コード）
商品シート	カテゴリ 1～10	文字（商品コード）
社員シート	部署名	文字（部署コード）
部署	所属部署コード	文字（部署コード）
	社員コード	文字（社員コード）
スケジュール	登録者部署コード	文字（部署コード）

※内部コードとは、eセールスマネージャーで自動で採番される、一意のコードとなります。

【参考】 -日付項目配置時の表示単位と表示期間の説明-

表示単位	表示される期間の説明
年	西暦で表示します。 表示例：2015
年度	4月1日から翌年の3月31日までを4月1日時点の西暦で表示します。 表示例：2018
半期帯	西暦関係なく4月~9月を上半期、10月~3月を下半期で表示します。 表示例：1、2
半期	4月~9月を上半期、10月~3月を下半期で西暦ごとに表示します。 表示例：1、2
四半期帯	西暦関係なく4月~6月、7月~9月、10月~12月、1月~3月として表示します。 表示例：1、2、3、4
四半期	4月~6月、7月~9月、10月~12月、1月~3月として表示します。 表示例：1、2、3、4
月帯	西暦関係なく1月~12月を1カ月毎で表示します。 表示例：1~12
月	1月~12月の1カ月毎を西暦毎に表示します。 表示例：2018-1、2018-2、2018-3、2018-4
日帯	西暦、月関係なく1日~31日を1日毎表示す。 表示例：1~31
日	1月1日~12月31日の1日毎を西暦毎に表示します。 表示例：2018-1-1、2018-1-2
時間帯	西暦、月、日関係なく0時~23時を1時間ごとに表示します。 表示例：0~23
時	0時~23時の1時間毎を西暦毎に表示します。 表示例：2018-1-1-0~2018-1-1-23
年-半期-四半期-月	ラベルを上から西暦毎、半期毎、四半期毎、月毎で表示します。
年-半期-四半期	ラベルを上から西暦毎、半期毎、四半期毎で表示します。
年-半期-月	ラベルを上から西暦毎、半期毎、月毎で表示します。
年-半期	ラベルを上から西暦毎、半期毎で表示します。

【参考】 -日付項目「期首月」「年度の設定」 - ※管理者ログインでのみ設定可能です。

グラフレポートで表示される「期首月」「年度」を変更したい場合、カレンダー設定の変更にて設定変更が可能です。※デフォルトの期首月は4月になっています。

検索

ホーム

シートの一覧と拡張

自社の設定

部署・社員のメンテナンス

社員項目の変更

カレンダー設定の変更

自社商品のメンテナンス

商品項目の変更

コラボレーションの設定

顧客の設定

営業プロセスの設定

アウトプットの設定

その他機能の設定

システムの設定

管理者 ヘルプ

カレンダー設定の変更

カレンダー設定

月間行動予定

期首月設定

1 タータ分析機能で使用する期首月を設定します。

期首月 1 月

年度の開始 暦年と同じ 暦年の前年
例：2020年度は2020年1月に開始

設定完了

休日設定

休日パターン 標準設定 iCalから追加

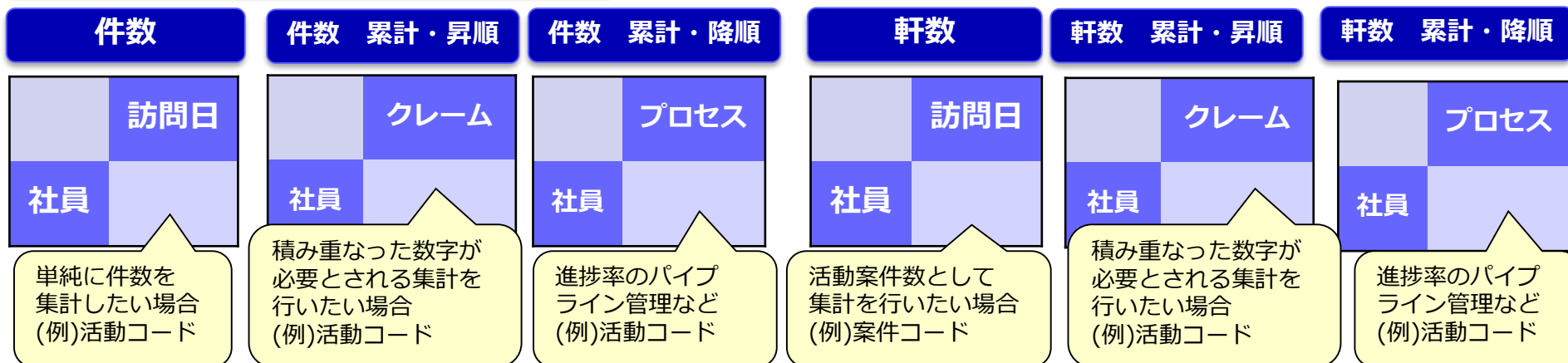
2020-03

月	火	水	木	金	土
休日設定	休日設定	休日設定	休日設定	休日設定	勤務日設定
勤務日 2	勤務日 3	勤務日 4	勤務日 5	勤務日 6	通常休日 7
勤務日 9	勤務日 10	勤務日 11	勤務日 12	勤務日 13	通常休日 14

【参考】 帳票の作成-集計値の表示単位-

表示単位	説明
件数	重複したレコードがあっても、まとめずに1件ずつカウントします。
件数 累計・昇順	重複したレコードをまとめずに1件ずつカウントし、集計開始日時より登録されている情報を集計終了日時に向かって累計していくことで集計します。
件数 累計・降順	重複したレコードをまとめずに1件ずつカウントし、集計対象期間での登録情報数から集計終了日時に向かって登録シート数を減算していくことで集計します。
軒数	重複したレコードがあれば、まとめて1件としてカウントします。
軒数 累計・昇順	重複したレコードをまとめて1件とカウントし、集計開始日時より登録されている情報を集計終了日時に向かって累計していくことで集計します。
軒数 累計・降順	重複したレコードをまとめて1件とカウントし、集計対象期間での登録情報数から集計終了日時に向かって登録情報数を減算していくことで集計します。

集計表示のイメージ



特殊検索項目について

「社員」や「部署」を組織ツリーからの選択式にしたい場合は、それぞれ「社員コード」「部署コード」をデータソース作成時(P17参照)に選択し、帳票集計条件設定の際に(P26参照)、項目を配置いただく必要がございます。

<p>選択ボックス② (社員)</p>		<p>社員コード配置時の 検索項目配置図</p>
<p>選択ボックス② (部署)</p>		<p>部署コード配置時の 検索項目配置図</p>

